

8部

卒業と
資格・免許状
取得のために

1 2017年3月卒業の方へ

3月卒業確定者には、3/6以降「卒業確定通知」などを順次お送りしています。ご確認ください。今年の3月卒業予定者は約280名となっています。

卒業される方には、これまでのご努力が報われましたことを、心よりお祝いいいたします。

2 2017年9月卒業希望の方へ

(1) 卒業試験の受験について

まだ「卒業試験」を受験していない方は、5・6・7月いずれかの科目修了試験にて「卒業試験」を受験し合格する必要があります（「卒業研究」提出予定者は不要）。

(2) 卒業までの「諸期限」や「学習計画の目安」について

『試験・スクーリング情報ブック2017』p.35記載のレポート、科目修了試験、スクーリングの期限や目安を基準に学習計画を立て、余裕を持って学習を進めてください。

3 2018年3月卒業希望で 「卒業研究」受講希望の方へ

『レポート課題集C 2017』p.176～185をよく読んだうえで、同冊子巻末「卒業研究 申込用紙」を4/5（必着）でご提出ください。

4 社会福祉士 取得希望の方へ

社会福祉士関連 問い合わせメールアドレス：uj@tfu-mail.tfu.ac.jp

国家試験対策講座・講義のご案内は本冊子 p. 49～52をご参照ください。

1 発送物のご案内

発送物	対象者	発送(予定)日
「★■演習C」スクーリング 結果通知	2月仙台会場受講者	3/11
「★■演習B」「◆演習Ⅱ」 スクーリング（5月開講分） 受講許可証・納入依頼書	3/15締切申込済で受 講条件達成者	3/15達成者 →3/25 4/15達成者 →4/25
「実習」内諾通知	実習申込が受理された 方	実習先より 「内諾回答書」 が到着後
「★■社福実習指導B-1+演 習C-1」「◆実習指導（事前 ①）」スクーリング受講許可証		4月開講分 →3/25 5月開講分 →4/10
社福（現場）実習費納入依頼書		4/10

8部

卒業と資格・免許状
取得のために

2 「★■演習A」「◆演習Ⅰ」申込みについて

6～7月に開講のスクーリング申込みを下記の要領で受付けます。

※来年度に実習を希望する方（3年次編入学の新入生を含む）は、今回申込みをしないと、来年度の実習は受講できません。

申込方法：本冊子巻末「★■社会福祉援助技術演習A・◆演習Ⅰスクーリング申込ハガキ」の提出。

※第2希望にも必ず○をつけること（第1希望と同日不可）。つけていない場合、いずれの日程・会場でも受講可能とみなされます。

申込締切：5/31 必着

受講判定日：5/31・6/15・6/30（受講条件の達成状況を判定します）

※第1・2希望の日程・会場での受講のためには、5/31の判定で条件を達成されることをお勧めします。

受講条件：『レポート課題集A 2017』p.134参照。

日程・会場：『試験・スクーリング情報ブック2017』4部を参照。

3 「★■演習B」「◆演習Ⅱ」受講希望の方へ

5月に開講のスクーリング申込み受付は、3/15で終了しました。

次回の申込み：9/15締切（8月発行予定の『With』でご案内）

4 「体験学習・次年度実習ガイダンス」の受講について

今年9/15締切の実習申込み（2017年度実習）を行うためには、2014年度以降の「体験学習・次年度実習ガイダンス」を受講している必要があります。受講が必要な方は、下記要領でお申込みください。

対象者：2013年度以前に「★■演習A・◆演習Ⅰ」スクーリング、および

「体験学習・次年度実習ガイダンス」を受講された方。

申込方法：書面（メール、FAX、郵送等）に「体験学習・次年度実習ガイダンス」受講希望と明記のうえ①学籍番号、②氏名、③受講希望日を、通信教育部実習係宛てに提出。

※受講希望日は、6～7月開講の「★■社会福祉援助技術演習A・◆演習I」2日目より選択（『試験・スクーリング情報ブック2017』参照。開講時間は最終コマ）。

※『実習の手引き 第1分冊』の「内容確認書」の提出にて代替可能。
ご希望の場合、書面にてお問い合わせください。

5 「★■演習C」申込みについて 実習免除者・科目等履修生での実習希望者へ

●スクーリング受講申込方法等は、下記にてご案内します

- ・分割受講型スクーリング→『With』121号（前号）
- ・2日間連続受講型スクーリング→『With』123号（次号）

●実習免除者で2018年3月卒業を目指される方

2017年度は、どの日程で受講しても3月卒業は可能です。

●4年次以上に在籍し2018年度科目等履修生での実習を希望している方

2018年1月末までに「★■演習C」の単位修得が必要です

※本年9／1～9／15の実習申込みも必要です。

5 社会福祉士・精神保健福祉士 国家試験受験希望の方へ

次回（2018年）の社会福祉士・精神保健福祉士国家試験は、2月上旬開催予定と発表されています。



1 国家試験対策講座「特講・社福5・6」のご案内

【概要】

- 科目名：「特講・社会福祉学5（社会福祉士国家試験対策講座）」
「特講・社会福祉学6（精神保健福祉士国家試験対策講座A）」

- 履修方法：R

- 内容：大学より発送される模擬小テストに解答し、返送する。

※発送は7～12月の毎月1回全6回（単位修得要件：提出5回以上）。

※1回あたりの問題数→「特講・社会福祉学5」57問

「特講・社会福祉学6」54問

※解答方法はマークシート方式。

※「特講・社会福祉学5」と「特講・社会福祉学6」は同時に受講できませんが、送付する冊子には両方の問題・解答が掲載されるので、もう一方の問題へ自主的に取り組むことは可能です。

※講義概要は、『レポート課題集A 2017』p.264～268を参照。

- 申込締切：6/20

- 申込方法：「申込用紙」（本冊子巻末）の提出。

※既に履修登録済みの方も、申込用紙の提出が必要です。

※単位修得を希望する場合、6/20までに履修登録を済ませてください。

※単位修得を希望しない場合は、履修登録がなくても受講可能です（在籍者は受講料不要）。

【本年9月末に卒業希望の方へ】

※受講可能ですが、単位修得はできません。

※卒業後の10～12月も、模擬小テストの発送・採点は行います。

【本年3月末に卒業する方・既に卒業している方へ】

現金書留封筒に、受講料7,000円と「申込用紙」（本冊子巻末）を同封のうえ申込みください。



2 国家試験対策講義のご案内

前項でご案内の「特講・社会福祉学5・6」とは別に、講義形式の国家試験対策講義を下記の要領で実施予定です（卒業生も受講可）。

内容は、受験対策の方法やポイント、模擬試験等を予定しています。

※詳細は、2018年2月の国家試験受験対象者（実習受講予定者・実習免除者で演習C申込済者）に郵送でご案内します。

※受講希望の方で4/15までに届かない場合は、国家試験受験対策係宛て（Email：goukaku@tfu-mail.tfu.ac.jp. にご連絡ください）。

※第1回（4/23・30）を除き、日程・内容はあくまで予定です。

●国家試験対策講義開講予定（変更の可能性あり）

回	日程	内容	受講料	会場
第1回	【札幌】 4/23(日) 【仙台・東京】 4/30(日) 11:00～15:00	スタートアップ ガイダンス （受験勉強への 取り組み方・卒 業生による合格 体験談）	無料	【札幌会場】 かでの2・7 【仙台会場】 仙台駅東口キャンパス 【東京会場】 東京サテライト （四ツ谷）
第2回 （予定）	6/17(土) 11:00～17:30 6/18(日) 10:00～17:10	共通科目編 （講義）		仙台駅東口キャンパス
第3回 （予定）	9/23(土) 11:00～17:30 9/24(日) 10:00～17:10	専門科目編 （講義）		
第4回 （予定）	10/21(土) 10:00～17:10	全国統一 模擬試験	4,600～ 6,700円	

第5回 (予定)	11/25(土) 11:00~17:30 11/26(日) 10:00~16:00	最終確認編 (学内実力テスト・解説)	無料	仙台駅東口キャンパス
-------------	--	-----------------------	----	------------

6 精神保健福祉士 取得希望の方へ

◆★：旧カリキュラム（2011年度以前入学者）

■：新カリキュラム（2012年度以降入学者）

精神保健福祉士関連メールアドレス：psw@tfu-mail.tfu.ac.jp



発送物のご案内

科目名・発送物	対象者	発送(予定)日
「◆★精保実習事後指導」 スクーリング成績結果通知	2/11・12受講者	3/7
「■精保演習C-2+実習指導 B-2(精保実習B事後指導)」 スクーリング成績結果通知	2/11・12受講者	3/7
「■精保演習B(実習免除者 用)」スクーリング成績結果通知	2/4・5受講者	3/9
「■精保演習C-1+実習指導 B-1(精保実習B事前指導)」 スクーリング受講通知	2017年度「■精保実習 B」受講予定者	3/9
「■精保演習C(実習免除者 用)」スクーリング受講通知	6/3・4受講予定者	3/9

「◆★精保実習事前指導」スクーリング受講許可通知	2017年度「◆★精保実習」受講予定者	4 / 5 頃
「◆★精保演習」スクーリング受講許可通知	6・7月受講希望者	5 / 5 頃
◆★■精保実習費納入依頼書	2017年度精保実習受講対象者	5 / 15頃

◎以下ご案内の演習・実習指導の会場は仙台のみとなります。

開講時間や受講に伴う各種課題の提出締切日は、今後の『With』や『試験・スクーリング情報ブック2017』1部の「精神保健福祉士 演習・実習科目関連締切等」をご参照ください。

【2011年度以前入学者（旧カリキュラム）・ 2012年度以降入学者（新カリキュラム）共通】

1 2017年度4月期「スタートアップガイダンス」開催について

4/29（土・祝）に開催予定の通信教育部・入学オリエンテーションにおいて、主に2017年度4月入学生を対象とした、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための学習の流れや、精神保健福祉援助実習における心構えなどについて解説する「スタートアップガイダンス」を開催します。終了後、個別に相談も受け付けいたします。

2 精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「学習相談会」開催について

2017年度の「■精保演習A」スクーリング受講条件科目である「精神保健福祉の理論」（4/15・16）、および「精神保健福祉援助技術総論Ⅰ」（4/22・23）それぞれのスクーリング開講に合わせて、学習の進め方などについての相談会を、精保実習系の職員が行います。

開催日時は、4/16(日)および4/23(日)の16:30～17:30を予定しています。個別相談形式のため、希望する方は事前に相談内容をまとめておいてください。

【2011年度以前入学者（旧カリキュラム）の方へ】

1 「◆★精保演習」スクーリング受講希望の方へ

「◆★精保演習」スクーリングの申込みは3/15で締切りました。4/15の受講判定後、5/5頃に受講許可通知を送付します（新カリキュラム「■精保演習A」スクーリングとの合同開講となります）。

2 2017年度「◆★精保実習」受講予定の方へ

本冊子巻末の「スクーリング受講希望届」にて、4/1必着で「精保実習事前・事後指導」スクーリングの申込みを行ってください。

9月末に卒業希望の方は、7/1～8/10頃までに実習を終え、9/2・3の事後指導の受講が必要です。

また、社会福祉援助技術実習と精神保健福祉援助実習の同年度受講を希望する方は、6月第4週～8月第2週までに先に社福実習を24日間行い、8月または9月に同実習指導を受講した後、10月以降に精保実習を24日間行ってください。

なお、両実習の事前指導にあたる「社福実習指導B-1+演習C-1」・「社福実習指導B-2」と「精保実習事前指導」の申込みに際しては、受講日が重ならないようご注意ください（両申込用紙の余白に同年度実習である旨を明記してください）。

実習受入れの内諾を得た方から順次「実習受入内諾通知書(写し)」と「実習日程カレンダー」を送付しています。同封の指示に従い実習日程調整を

行ってください（実習日程は2カ月内に12日+12日の2分割までを認めています）。内諾通知書に記載された実習先で「実習計画（案）」を作成し、事前指導開講日ごとに指定された期日までに提出を行ってください。

【2012年度以降入学者（新カリキュラム）の方へ】 《実習受講者・実習免除者共通》

1 「■精保演習A」スクーリング受講希望の方へ

2017年6・7月開講の「■精保演習A」スクーリングを受講希望の方は、本冊子巻末の「スクーリング受講希望届」にて4/30必着で申込みを行ってください。今期申込みを含む以後の演習・実習等の受講申込受理条件ならびに受講条件に関して、2017年度4月入学生は入学時に配付される『学習の手引き 2017版』p.123に記載の各条件が適用となります。5/31条件達成期日の「■精保演習A」スクーリング受講申込受理条件【条件1】の達成を目指して計画的に学習を進めてください。

《実習受講者専用》 （「■精保実習A（福祉施設実習）」（10/1～2/15）関連）

2 2017年度「■精保実習A」受講予定の方へ

昨年11月末に「■精保実習A」受講申込みを行った在学生、ならびに2017年度4月生3年次編入学者で当年度「■精保実習A」の受講希望者は、前項の「■精保演習A」スクーリングと、「■精保演習B-1+実習指導A-1」（■精保実習A事前指導）スクーリングの受講申込みを、本冊子巻末の様式にて4/30必着で行ってください。

なお、今年度「■精保実習A」を受講希望で、4/30締切の「■精保演習A」スクーリングの申込みができる方は、2016年度10月入学ならびに

2017年度4月入学の3年次編入学者で、出願時に「入学前・精保実習A希望届」を提出された方が対象となります。

2016年10月以前入学者は、昨年12月または1月の「■精保演習A」スクーリングを受講済みであることが必須となります（『With』118号p.62「1『■精保演習A』スクーリング（今年度12・1月開講）を受講希望の方へ」参照）。

現在、実習受入れの調整を行っており、実習受入れの内諾を得た方から順次「実習受入内諾通知書（写し）」と「実習日程カレンダー」を送付しています。同封の指示に従い実習日程調整を行ってください（実習日程は2カ月内に7日＋8日の2分割までを認めています）。内諾通知書に記載された実習先で「実習計画（案）」を作成してください。

2016年10月以前入学者で、社会福祉援助技術実習と精神保健福祉援助実習の同年度受講を希望する方は、6月第4週～8月第2週までに先に社会福祉士の実習を24日間行い、9月上旬に同実習事後指導を受講した後、10月以降に精保の実習を8日間※行ってください。

※2012年4月以降入学で、2009年度以降に「社会福祉援助技術実習」を履修した方は、精神保健福祉士の「■精保実習A」（福祉施設実習）は8日間（60時間）とすることが可能です。

なお、2017年度以降に申込む演習・実習等の受講条件は、『学習の手引き 2012-2016版』p.134および『学習の手引き2017版』p.123が適用されます。

（「■精保実習B（医療機関実習）」（7/1～12/25）関連）

3 2017年度「■精保実習B」受講予定の方へ

対象者には3月上旬に『精保実習B課題ノート』・「精保実習B計画（案）」・「個人記録」・「誓約書」・「健康診断書」・「実習先までの交通アクセ

ス・「実習先への配慮希望」の各様式を郵送で配付済みです。

「■精保演習C-1+実習指導B-1」（実習B事前指導）スクーリングのクラス通知に従い、各種提出物を所定の期日または受講日当日に提出してください。

現在、実習受入れの調整を行っており、実習受入れの内諾を得た方から順次「実習受入内諾通知書（写し）」と「実習日程カレンダー」を送付しています。同封の指示に従い実習日程調整を行ってください（実習日程は土日を除き12日間連続のみを認めています）。内諾通知書に記載された実習先で「実習計画（案）」を作成してください。

《実習免除者専用》

4 2017年度4月生（新入生）の方へ

2017年度以降に「■精保演習A・B・C」スクーリングの受講を申込む実習免除の方の受講条件は、すべて入学時に配付される『学習の手引き』p. 123に記載の各条件が適用となります。

2017年度4月生3年次編入学者で、最短（2年間）での資格取得・卒業を目指す実習免除の方は、4/30までに「■精保演習A」スクーリングの申込みを、11/30までに「■精保演習B」スクーリングの受講申込みを行ってください（11/30の受講申込み手続きについては、10月下旬発行の『With』127号で案内予定）。

また、11/30締切で「■精保演習A・B」スクーリングを同時に申込み、12月または1月に「■精保演習A」、2月に「■精保演習B」スクーリングを受講して、最短での卒業を目指すことも可能です。その後、同年度の2月末締切で「■精保演習C」スクーリングの受講を申込み、2018年6月（予定）に受講する流れとなります。

上記の各申込みを一つでも逃すと在籍期間の延長が必至となりますの

で、各種条件の達成等、計画的に学習に取り組んでください。

また、「■精保演習B」（2月）・「■精保演習C」（6月）の両スクーリングは開講日が年1回のみのため、スケジュールの調整にご留意ください。

7 教員免許状 取得希望の方へ

●教員免許状取得希望者への重要なご案内

『試験・スクーリング情報ブック2017』p.37～38にこれまでご案内してきた留意事項の要点をまとめていますので、必ずご確認ください。

●特別支援学校教諭免許状取得希望者（実習受講者）へ

『学習の手引き』3章や『レポート課題集D（特別支援編）』の「障害者教育実習の事前・事後指導」「障害者教育実習」をよく読み、学習計画をたててください。

7/29・30仙台の「障害者教育実習の事前指導」スクーリングが最終開講となります。事前指導の未受講者は7/7までに7/29・30のスクーリング受講申込みと受講条件の達成を行ってください。10月以降の実習開始が可能です。

●免許状取得見込証明書の発行

教員採用試験を受験予定で、「免許状取得見込証明書」の発行を希望する場合の基準は下記のとおりです。

・本年3月までに教育実習事前指導受講済の方

→ 申請があれば発行します。

・それ以外の方

→ レポートを1通以上提出したうえで、「免許状取得見込証明書」の発行申請時に、来年3月末までに免許状取得に必要な単位修得ができ

る学習計画書を提出し、認められれば発行します。学習計画書は『学習の手引き』の書式を参考に、科目ごとにレポート提出・科目修了試験受験・スクーリング受講などの予定を記入してください。障害者教育実習が必要な方は、7/29・30の実習事前指導スクーリングを受講できる条件を満たすような学習計画を立ててください。

8 幼保特例講座受講の方へ

科目修了試験のご案内は3部に掲載されています。

●4月新入生の方へ

(1) 『With』(本冊子)について

- ・『試験・スクーリング情報ブック2017』1部「学年暦」に記載の日程で、年8回発行します。
- ・特に重要なのは下記のページです。

3部 科目修了試験のご案内

※受験希望者は申込締切日までに巻末ハガキでの申込みと受験科目のレポート提出(「TFU オンデマンド」上でレポート解答の場合は合格)が必要です。

8部(または7部)「幼保特例講座 受講の方へ」

※各時期の重要なお案内等を掲載します。

※レポートや『幼保特例講座 科目ガイド』の修正等もお案内します。

(2) 『試験・スクーリング情報ブック2017』について

特に重要なのは「2部 科目修了試験」と「6部 会場案内」です。

※レポートを提出する際は「2部 科目修了試験」に記載の「申込締切日」を目安に学習してください。

(3) 入学許可時に送付された冊子をご確認ください

- ①『学習の手引き2017版』（p. 148～154からお読みください）
- ②『幼保特例講座 科目ガイド』（レポート提出上の留意点や科目修了試験のヒント等も記載）

(4) 入金後に送付されたもの（下記①～③）をご確認ください

- ①「東北福祉大学教材送付明細書」（履修登録科目と教科書名が記載されていますので、保管ください）
- ②履修登録科目のレポート（4／1から提出可）
- ③履修登録科目の教科書

※不足があれば到着後10日以内にお申し出ください。

※「学生証」「氏名バーコードシール」「履修状況表Web閲覧システムパスワード」は、上記①～③とは別便で3／31以降に送付します。

●在籍者の方へ

(1) 4月生科目等履修生 継続（在籍更新）手続きについて

すべての単位を修得していない方が4月以降も学習の継続を希望する場合、4／10までの継続（在籍更新）手続きと、4／20までの学費納入を行ってください（手続きの詳細は2／2送付の手紙参照）。

(2) 2014・2015年度に初回履修登録・教科書配本科目の継続について

『With』119号 p. 59でご案内のとおり、2017年度4月以降に教科書やレポート課題が変更になる科目を継続して学習する場合は、2017年度の学費納入後に送付する新しい教科書・レポート課題にもとづき学習してください。

(3) Webレポートの配信について

- ①4月生の方へ

4月生へのWebレポートの配信は、レポート提出期限の2月末で停止しました。4/10までの継続（在籍更新）手続きと、4/20までに学費納入をされた方へは、2017年度履修登録科目のWebレポートの配信を4/1以降（かつ学費の納入確認後2週間程度）に再開します。

②10月生の方へ

10月生へのWebレポートの配信は、レポート提出期限の8月末で停止となります。

(4) Webレポートの評価登録について

幼保特例講座Webレポートの評価登録は、科目修了試験申込締切日の翌日から3日間以内で行っており、今回は4/26～28となります（ただし10月生についてはその前4/1～3にも行います）。

(5) すべての単位修得後の手続きについて

- ①学生証返納・修了手続きが必要です。『学習の手引き』巻末様式15または様式19を大学へお送りください。
- ②幼稚園教諭免許状の申請、または保育士試験の受験申請の際には、証明書の発行申込みが必要です。以下を大学へお送りください。
 - ・「各種証明書申込書」（本冊子巻末）
 - ・証明書発行手数料分の定額小為替
 - ・返信用封筒（返信先記入・82円切手貼付）

スクーリング・アンケートより(3)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●障害者福祉論 横山英史 仙台

- ・脳性マヒのご夫婦のDVDや優生思想、社会防衛思想に関するグループワークで考えさせられることの多いスクーリングでした。また当事者としての立場からお話をしていただき貴重な学びができました。

●ボランティア論 小野芳秀 仙台

- ・ボランティアというと、災害ボランティアや病院・介護施設での活動のイメージが、強くあったのですが、教育現場でもボランティア活動があったと今回のスクーリングで初めて知りました。ありとあらゆる場で活動が求められていることに関心が高まりました。

●発達障害者の地域支援 三浦 剛 仙台

- ・障がいを持っていても普通に地域で生活するには、地域の関係性が希薄になりつつある現状を町ぐるみで変えていく必要がある。受け入れる側が学ばなければならないことが多くあると思いました。
- ・障がい子どもとどう関わるか、ニーズをどう把握し支援計画に活かすのかなど具体的な事例を交えて教えていただいた。今後活かすことのできる内容で大変参考になりました。

●福祉用具と生活支援 関川伸哉 仙台

- ・福祉用具と使用者の正しい適合によって、生活環境に大きく作用すること、そしてその環境が変化することで、使用者がその人らしく生活できることが、社福士の専門性に繋がることを学び、とても大切なことであると認識することができました。

●特講（子どもの貧困）池上和子 仙台

- ・貧困の背景、児童虐待の背景などそこにある問題点を探ることで、社会がアプローチしながら社会的損失のリスクを減らすことを、社会全体で考えていかなければならないと感じた。今後も先生の講義を開講して多くの人に聞いてもらいたいと思います。
- ・関心のあったテーマであったが、具体的な研究例や貧困が子どもに対して長期に渡り、リスクを与えることを知ることができました。私たちが情報として耳に入る以上の深刻な実状であると感じました。

スクーリング・アンケートより(4)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●社会福祉援助技術演習B・演習II

- ・ソーシャルワークの展開について改めて理解が深まった。私たちの目指すところはジェネラリスト・ソーシャルワーカーなのだと認識できた。
- ・用語や理論について、「言葉とそのしくみを理解しているか。」と問われたが、理解しているようでしてないことが多くあり、学習の不備に反省した。コミュニケーション演習では受容・共感・傾聴の定義を実際の場面を通じて体験し、言葉とその意味や仕組みを振り返ることができる機会となった。
- ・常に質問しやすい状態だったので、質問しながら確認し理解がしやすかった。社会福祉士としての心構えや考え方など事例を示して説明いただき、分かりやすいと感じた。
- ・授業が展開される中で、振り返りをしてくださったのでありがたかった。他職種の方が受講しているだけでもモチベーションが上がったような気がします。面接技術はとても多くのことを学べました。

●社会福祉援助技術演習C（実習免除者用）

- ・事例検討を行うことで今まで思いつかなかったこと、考え方を柔軟にできるヒントが得られたと思います。様々な体験をしている人が集まる場でもあったので、気づきを深め、自分自身を知る良い時間となりました。
- ・グループワークで他者の話を聞くということは、自分の気づかなかった考えを知ることになり勉強になった。また、自分の出した考えに偏りが見られ自己覚知の時間となり今後に役立つと思った。

●精神保健福祉援助演習A

- ・演習を通して、様々なロールプレイを積むことができ、支援の重みを感じることができた。全体を見るアプローチ、情報を伝える知識など、いろいろな学びを深めていかなければいけないと痛感しました。
- ・演習を通して、コミュニケーション技術の難しさ、言葉だけで相手に伝えることは難しく、何度か質問し確認することで伝わるのが分かり、一方的に伝えるのではなく双方でやり取りをする大切さを学んだ。

●精神保健福祉援助演習B（実習免除者用）

- ・ICFについて再度自宅学習が必要だと感じた。クライアントの生活について関わる援助者（支援者）の自己覚知を再確認し、記録等を活用したクライアントへの理解を高めていくなどさまざまな知識と配慮が必要と感じた。

スクーリング・アンケートより(5)

アンケートに記入いただいたご要望につきまして、現時点での回答をさせていただきます。ご理解の程よろしくお願いいたします。

- 「TFU オンデマンド」をスマホやタブレットに対応できるようにして欲しい>>2018年度に向けて、対応できるよう検討していきます。
- トイレの数を増やして欲しい>>増設を検討中ですが、完成まで時間を要します。あわせて多機能トイレの増設も検討中です。
- 教室内に荷物を入れるロッカーが欲しい>>教室内に設置予定はございません。1階入口付近のロッカーをご使用ください。
- 自習室の利用時間を長くできないか>>現在9時～17時の利用時間となっておりますが、皆さんが有効利用できるよう検討します。
- スクーリング資料が見つからない>>ご迷惑をおかけしています。スクーリング講義内容や資料に関してアンケートに記載いただいたことは担当教員へお伝えし、次回授業に役立ていただくようにしております。
- レポート課題の内容が分かりづらく悩んだ>>具体的な箇所をお知らせいただければ次年度に向けて検討します。実際に2017年度の『レポート課題集』作成にあたって、説明が追加された箇所もあります。また、質問票（『学習の手引き』巻末様式22）やメールにてご質問いただくことが可能です。
- 事務室における職員の対応が遅く冷たく感じる時がある>>不快な思いをおかけし申し訳ございません。素早い窓口対応と適切な説明、相談しやすい雰囲気づくりを心がけます。
- 学習方法などについて詳しく教えて欲しい>>スクーリング時など仙台にお越しの際お気軽にご質問ください。また随時、学習相談に対応しています。メールなどでもお気軽にお問合せください。